

# 国民の森林 国有林



National Forest



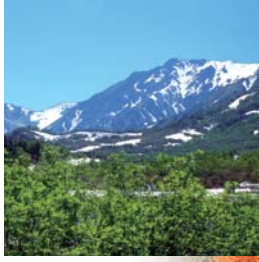
ヤマネ



ライチョウ

中部森林管理局

# 森林が与えてくれる恵み



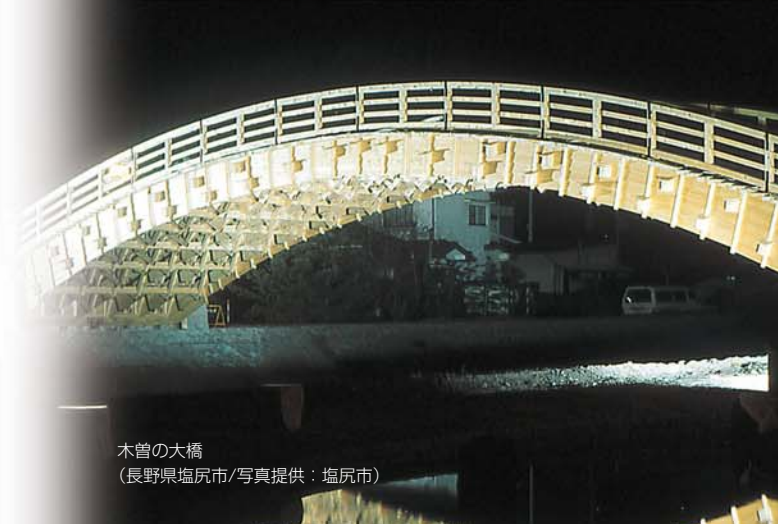
## 雄大な自然

季節により彩りを変え、  
感動を与えてくれる雄大な自然



## 森林とのふれあい

美しい自然の中で、森林とふれあい、  
森林で遊び、学ぶ



木曾の大橋  
(長野県塩尻市/写真提供：塩尻市)

溪流のせせらぎ、小鳥たちのさえずり、木々を揺らす風たち、  
そしてそびえ立つ樹木や小さな草花が、私たちにそっと何かを語りかけます。  
そこには、心が和み、洗われるかのように時が流れ、  
めまぐるしい毎日とは違う、忘れかけていたもうひとつの世界があります。

## C O N T E N T S

1 森林が与えてくれる恵み	1
2 沿革	3
3 概要	5
管内の特色	
森林面積	
人工林齢級別面積	
4 主な業務	6
公益的機能の発揮	
森林整備事業	
治山事業	
優れた自然環境の維持・保存	
地球温暖化防止対策	14
間伐等の推進	
木材の利用促進	
公共工事への間伐材の使用	
林産物の供給	15
安定的・計画的な木材の供給	
低コスト・高効率作業システムの推進	
国民参加の森林づくり	16
森林環境教育	
上下流の連携による森林づくり	
森林ボランティア活動への支援	
レクリエーションの森	
5 富山県の国有林	21
6 長野県の国有林	22
7 岐阜県の国有林	23
8 愛知県の国有林	24
9 組織図	26



### 清らかな水

私たちの生命を支える清らかな水は、  
森林からの贈りもの



### 木の文化

日本の文化・木の文化を支え、  
暮らしと心に潤いを与えてくれる木材

# 沿革



1867年(慶応3年)  
1869年(明治2年)  
1874年(明治7年)

大政奉還  
版籍奉還により、藩有林の多くは官林となる  
森林の所有権を明確にするための「官民有区分」の開始

1879年(明治12年)

山林局設置



1885年(明治18年)

宮内省御料局設置

国有林

※

北海道国有林

御料林



1947年(昭和22年)

林 政 統 一  
農林省林野庁が一元的に所管

1985年(昭和60年)

長野営林局

名古屋営林局

名古屋営林支局

1999年(平成11年)

中部森林管理局

名古屋分局

2004年(平成16年)

中部森林管理局

名古屋事務所



(※1886年(明治19年)から内務省の所管)



樹木伐倒し其本ノ梢ヲ打テ株ニサシメテ山神ニ奉リ其本中  
 間ヲ山神ヲ賜ルトイフ古ノ木伐倒シテ延喜式大祭祭祝詞見又  
 萬葉集三ノ卷七ノ卷ニ鳥網五ト云ル即此事ナリ



「株祭之図」  
 「樹木を伐倒し、その木の梢を伐倒した株に差して山の神に奉り、株から梢までの中間を山の神より賜る」  
 (出典：「木曾式伐木運材図会」中部森林管理局所蔵)

## 【前 史】

### 木曾谷の山林と尾張藩の林業

古くから優良なヒノキ林が多いことで知られた木曾谷の山林の支配は、木材荘園としての小木曾荘時代を経て、1336年(建武3年)、地頭の真壁政幹によって押領された。その後、1338年(歴応元年)、木曾義仲の後裔と称する木曾氏が木曾谷の全域を支配下に置き、戦国期を経て天下取りを果たした豊臣秀吉、さらに徳川家康へとその支配が移っていった。

### 尾張藩の林政改革

一 1607年(慶長12年)、徳川家康の第9子義直が清須領主に据えられたことで尾張徳川家が始まる。1610年(同15年)に名古屋への遷府令が発せられ、名古屋城の築城(※1)がはじまった。

※1 城は1614年(慶長19年)に完成、本丸天守閣に要した木材総数は37,974本、大天守の用材量は1,486㎡余、付属建物を含めて藩邸の竣工までに要した木材は、原木で36,100㎡に及ぶと記録されている。

二 17世紀初頭、江戸をはじめとする各地の都市の勃興期であり、また、江戸時代初期まで続いた長期内戦後の復旧に大量の木材を必要とした。(※2)こうした大量の木材需要が伐木運材技術の改善を促した。奥地林への開発による全国の森林の急激な荒廃ぶりは、当時の陽明学者であった熊沢蕃山(1619年～1691年)をして「天下の山林十に八尽く」と嘆かせた。

※2 無尽蔵と目されていた木曾谷の森林資源も、木曾川流送による利便な立地条件を備えていた上に、集散地名古屋から江戸・大阪方面への海上輸送もまた著しい増加をみるようになり、乱過伐を免れなかった。

三 尾張藩の伐採規制は、開発の早かった裏木曾を対象に行ったのが最初である。1627年(寛永4年)、時の国奉行で伐木奉行も兼ねた原田右衛門(忠政)から裏木曾三カ村山方支配の付知村庄屋にあてた指令は、次のような厳しいものであった。

藩当局からの注文や指示のない材木の伐出を堅く禁ず。地元の百姓への売木に対しては、御用木の対象とならない雑木に限って認めるものの、それについても出先奉行の承認のない密売を禁ず。

四 1665年(寛文5年)、藩政改革の一環として実施された林政改革により、伐木運材の全面的な藩による直轄化と留山(※3)制度の創設がなされた。この背景には、明暦の江戸の大火(1657年)や万治の名古屋大火(1660年)の復興材の伐出により御嶽山麓付近まで大量伐採が行われ、藩用材の供出もままならぬほど森林資源が枯渇したという事情があった。

※3 有用樹の温存を目的として、その伐採を厳禁した山

五 1708年(宝永5年)にヒノキ・サワラ・アスヒ(ヒバ)・コウヤマキの四木を「停止木」として伐採を禁止した。しかし、こうした改革も慶長以来の過大な伐採量に大幅な制限を加えるには至らなかった。そこで第三次改革というべき享保改革(1720年)(※4)が行われる。

※4 四木以外の有用樹種についても、「停止木」に次ぐ規制の強い「留木」に指定するなど、かつてない強力な規制と取り締まりを開始するものであった。

六 さらに1728年(享保13年)にはネズコム停止木に追加され、いわゆる「木曾の五木」が誕生する。その後、伐採基準の設定や択伐施業の採用などにより、森林は次第に回復していった。

七 幕末から明治初年にかけて、藩財政のひっ迫や維新の混乱のために、旧来の施業計画の一時放棄を余儀なくされたものの、それでもなお、改革を開始した時期の蓄積量をはるかに上回ると推定される森林資源が育成されていった。

# 概要



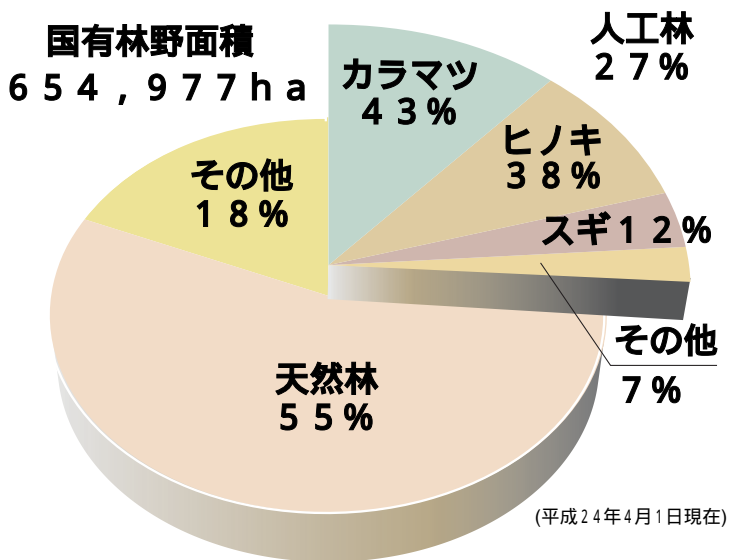
## 管内の特色

中部森林管理局は、富山県、長野県、岐阜県、愛知県の森林243万haの約3割を占める66万haの国有林を管理しています。これらの国有林は、三河湾近くの標高16mの森林から「日本の屋根」といわれる日本アルプス(最高峰:奥穂高岳3,190m)の山岳地帯まで広く分布し、その多くは地形が急峻な脊梁山脈や重要な水源の源流域に位置しています。こうした場所で国有林は土砂崩れを防ぎ、水源を守るなど、私たちの生命や暮らしに欠かすことのできない多くの働きをしています。

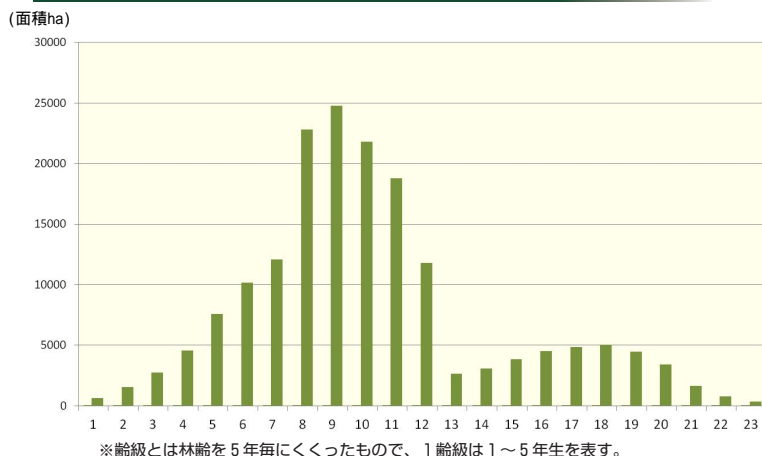
また、管内の国有林には原生的な森林も多く分布し、希少な野生動植物の生息地として学術的に重要な森林も少なくありません。さらに、四季折々に表情を変え私たちの心を和ませてくれる景観が美しい森林や森林浴などを楽しめる森林も各地にあります。

一方、生育しつつある人工林を主体として、国有林では、管内で年間に供給される国産材の約2割に当たる木材を生み出しており、これらは住宅や家具のほか、学校や体育館などの公共建築物や歴史的・文化的建造物などの材料として、私たちの生活を豊かで潤いのあるものとしてくれています。

## 森林面積



## 人工林齢級別面積



中部森林管理局の国有林は、約6割がナラ・カンバ・ブナの広葉樹やモミ・ツガの針葉樹からなる天然林、約3割がヒノキ・カラマツなどの人工林、残る1割は高山の岩石地などで占められています。

人工林は、Ⅶ~Ⅺ齢級(31~55年生)の生育期の林分が主体となっており、健全で活力ある森林の育成のため、また、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止のために間伐などの森林整備を積極的にすすめています。



# 主な業務



管内には、原生的な姿を残す森林から木材を生産するために植林された森林まで、様々な森林があります。森林の取扱いに当たっては、重点的に発揮されるべき機能に応じ森林を区分し、それぞれの特性に応じたきめ細かな管理経営を行っています。

## 水土保全林

土砂崩れの防止といった国土の保全、水源かん養など、安全で快適な国民生活を確保することを重視して森林を守り育てます。



## 森林と人との共生林

野生動物の重要な生息地や希少な植物群落の保護など貴重な自然環境の保全や森林とのふれあいの場を提供することを重視して森林を守り育てます。

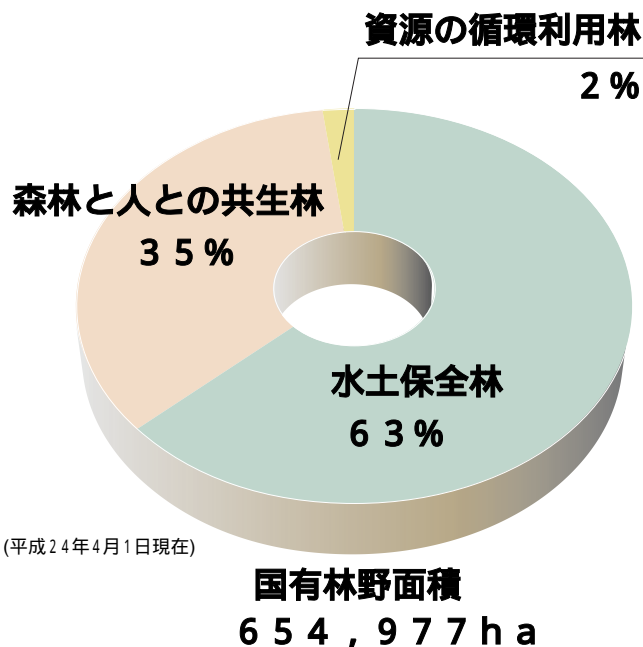


## 資源の循環利用林

水源のかん養などの公益的機能に配慮しながら、持続的・計画的に木材を生産するための森林づくりを行います。

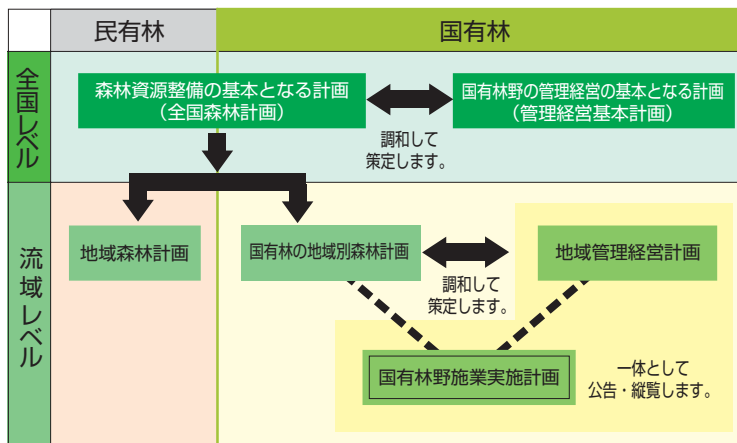


## 機能類型別面積



## 国有林の計画体系

国民の大切な森林を管理するために、流域ごとに森林整備に関する基本的な事項を示す「国有林の地域別の森林計画(計画期間:5年間)」や管理経営に関する基本的事項を示す「地域管理経営計画(計画期間:5年間)」などを定めて、計画的な管理経営を行っています。





## 業務内容

### 公益的 機能の発揮

- 森林整備事業
- 治山事業
- 優れた自然環境の維持・保存



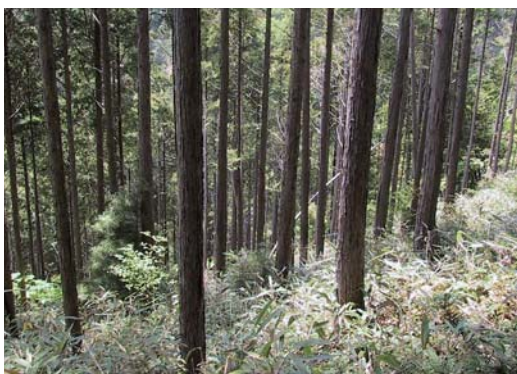
### 林産物の 供給

- 安定的・計画的な木材の供給
- 低コスト・高効率作業システムの推進



### 地球温暖化 防止対策

- 間伐等の推進
- 木材の利用促進
- 公共工事への間伐材の使用



### 国民参加の 森林づくり

- 森林環境教育
- 上下流の連携による森林づくり
- 森林ボランティア活動への支援
- レクリエーションの森



# 公益的機能の発揮

## 森林整備事業

森林の公益的機能を発揮させ、地球温暖化防止のための森林吸収源対策を推進するため、間伐など森林整備を計画的に実施するとともに、伐採年齢の長期化、天然力を活用した針広混交林化など、百年先を見通した多様で健全な森林づくりをすすめています。

また、効果的・計画的に森林整備をすすめるため、開設コストの低い丈夫で簡易な路網の整備・開設をしています。

その他にも、民有林と国有林が一体となって効率的に路網整備や間伐等の森林整備に取り組む森林共同施業団地の設定を推進しています。



## 治山事業

治山事業は、自然災害により荒廃した森林に土木工事や緑化工事を施すものです。こうした森林の維持・回復などを通じて、山地災害から国民の生命・財産を守るとともに、水源かん養や生活環境の保全など、安全で安心な豊かな暮らしの実現に貢献します。

### 国有林野内直轄治山事業

#### 【施工例】長野県西部地震災害復旧 (長野県王滝村)

昭和59年、長野県王滝村を震源とするマグニチュード6.8の地震により、御嶽山の斜面が44haにわたり崩壊し、3,600万 $\text{m}^3$ の土石が流下して、約700haの森林が失われるなど、甚大な被害が発生しました。

堆積した土砂の流出防止と裸地化した区域の緑の再生を目的とする治山事業を実施した結果、現在では広い範囲で溪畔林などが再生しつつあります。



土石流により溪流・溪岸の森林が消失  
(昭和59年)



床固工・水路工により溪床が安定  
(昭和62年)



再生が進む溪畔林(平成15年)

#### 【施工例】岐阜県中津川市加子母

断層の影響を受け、大規模な崩壊地となっていました。山腹工事によって斜面が安定し、森林が再生しました。



尾根まで達した荒廃  
(昭和60年)



山腹工事により斜面が安定  
(平成2年)



森林が再生(平成15年)



## 民有林直轄治山事業

### 【施工例】長野県飯田市松川入

民有林においても、災害復旧事業の規模が大きい場合や特に高度な技術を必要とする場合は、国が治山事業を行っています。



台風などによる荒廃  
(平成5年)



山腹工により斜面が安定  
(平成14年)



森林が再生(平成16年)



ライチョウ

七島八島湿原  
植物群落保護林(南信署)

## 優れた自然環境の維持・保存

管内の国有林野には、希少な野生動植物が生息・生育する森林が多くあります。これらの貴重な森林生態系の維持・保存とあわせ、生息・生育する動植物の保護もすすめています。

# 保護林

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存などを目的に、6種類、141箇所の保護林を指定しています。

保護林においては、そこに生息・生育する野生動植物のモニタリング調査や傷んだ植生の回復・再生の事業を行っています。

## 森林生態系保護地域

森林生態系の保存、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存を目的に設定しています。

設定数  
**5**

## 林木遺伝資源保存林

林業樹種と希少樹種の遺伝資源の保存を目的に設定しています。

設定数  
**32**

## 植物群落保護林

希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群などの保存を目的に設定しています。

設定数  
**64**

## 特定動物生息地保護林

希少化している野生動物とその生息地・繁殖地の保護を目的に設定しています。

設定数  
**3**

## 特定地理等保護林

岩石の浸食や節理、温泉噴出物、氷河跡地の特殊な地形、地質の保護を目的に設定しています。

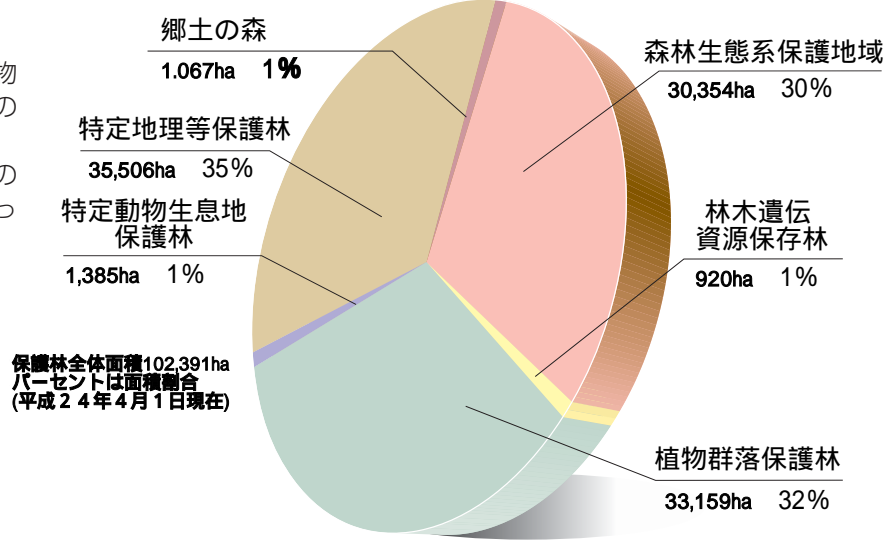
設定数  
**26**

## 郷土の森

地域の自然、文化のシンボルとしての森林の保存を目的に設定しています。

設定数  
**11**

## 保護林の設定状況



称名滝特定地理等保護林 (富山署)



白山森林生態系保護地域 (飛騨署)

## 高山植物の植生復元作業

## 希少野生動植物種保護管理事業



北アルプス双六池 (飛騨署)



ライチョウ



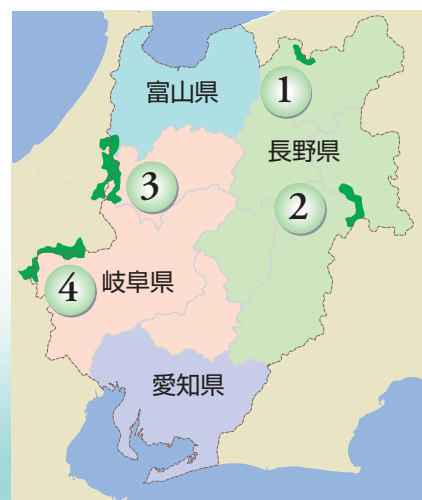
イヌワシ



アツモリソウ

# 緑の回廊[コリドー]

緑の回廊位置図



森林生態系を構成する野生動植物の種の多様性を保全するためには、その移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことが必要です。

中部森林管理局では、保護林を連結してネットワークを形成する「緑の回廊」を設定し、野生動植物にやさしい森林づくりをすすめています。管内には、①緑の回廊雨飾・戸隠②緑の回廊八ヶ岳③白山山系緑の回廊④越美山地緑の回廊の4箇所を設定しています。(40,419ha)

希少化している野生生物と  
その生息地・繁殖地  
〈特定動物生息地保護林〉

希少な高山植物  
学術上価値の高い樹木群  
〈植物群落保護林〉

森林生態系保護地域

森林生態系を構成する  
生物全般の遺伝資源  
〈森林生物遺伝資源保存林〉



緑の回廊 [コリドー]  
〈イメージ図〉

## 森林の適切な 保全管理



高山植物の植生復元 (南信署)



高山植物保護 (中信署)

これまで大切に育ててきた人工林や、絶滅の恐れがある希少な動植物などの多様な動植物を鳥獣被害や人的被害から守るため、地元市町村やボランティアなどと連携しながら森林を巡視し、被害の早期発見や未然防止対策を行っています。



鹿柵設置の様子 (南信署)

# 地球温暖化防止対策

森林は、光合成により大気中から二酸化炭素を吸収し、木材として炭素を貯蔵することで地球温暖化防止に重要な役割を果たしています。特に、健全な針葉樹の人工林などは、面積当たりの二酸化炭素の吸収量が大きいことから、間伐などの適切な森林整備を行い、その健全性を保つことが重要です。

また、伐採した木材を住宅や家具などに利用することは、木材の中に貯蔵された炭素を固定し続けることであり、同様に地球温暖化防止に貢献します。

さらに、木材をバイオマスエネルギーとして用いることは、それによって二酸化炭素が排出されても、もともと大気中にあった二酸化炭素が戻るだけ(いわゆるカーボンニュートラル)ですから、これによって化石燃料の使用を減らせば、地球温暖化防止に寄与することとなります。

## 間伐等の推進

育成林においては間伐などの森林整備を積極的に推進することによって、森林吸収源の参入対象となる健全な森林を効果的に増やしています。

また、天然生林においても保安林の適切な管理に取り組むこととしています。



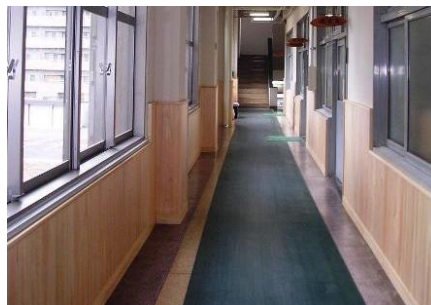
間伐前



間伐後

## 木材の利用促進

林道や治山などの土木工事、庁舎建築への木材利用、間伐材を使った木製品の使用に積極的に取り組むほか、「木づかい運動」を通じ地球温暖化防止対策に資する木材利用の積極的なPRを推進しています。



局内廊下の腰板



岐阜署新庁舎

## 公共工事への間伐材の使用

治山・林道工事の実施に当たっては、木材の特性を考慮し、法面保護工などに間伐材を積極的に利用しています。



丸太土留工・柵工による山腹工(東濃署)



間伐材を使用した床固工・流路工(愛知所)



加賀森つばくろ林道(東信署)



# 林産物の供給

国有林では水源のかん養や自然環境の保全などに十分配慮しながら、森林整備を通じて生産される木材の持続的かつ計画的な供給に努めています。

## 低コスト・高効率作業システムの推進

将来にわたって安定的に木材を供給できるよう、木材生産の作業効率の向上とコスト削減に向けて、簡易で耐久性を有する作業路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率作業システムの普及・定着に取り組んでいます。  
また、人工林の間伐によって生産される曲がりや節の多い低質な間伐材を、合板・集成材工場等の新たな大口の需要先に向けて安定的に供給する「システム販売( )」も行っています。(「国有林材の安定供給システム販売」の略称)



作業路の開設作業



ハーベスタによる集材作業



ハーベスタによる造材作業



フォワーダによる運材作業

## 安定的・計画的な木材の供給

管内には、日本を代表する木曽ヒノキなどの多様な森林資源があり、国有林ならではの太径長尺材などを神社・仏閣の修復や伝統工芸の持続などの資材として、地域の木の文化を守るために、計画的に供給しています。



善光寺三門修復工事の資材となった天然サワラ



修復工事(屋根の葺替え)が終了した善光寺三門(平成20年)  
写真提供/財団法人文化財建造物保存技術協会